

## 学力向上のための学習指導案（国語科）

日時 平成28年5月26日(木) 第6校時  
場所 5年教室

### 1. 前回の研究を受けて

前年度に行った授業での反省として、一つとして、集団解決の場面が児童の意見の出し合いで終わってしまい、意見の練り合いができなかったことが挙げられる。

これを受けて、授業では、課題設定の工夫や集団場面での有効な意見の発表の仕方、話し合い方を工夫することで、集団解決を児童同士で課題解決に向けて話し合う場にしていきたい。また、授業に参加する児童に偏りが生じないように、みんなで比較検討する場面を授業展開の中で設定していきたい。

### 2. 研究協議で話し合っしてほしいこと

○本時の課題解決に向けて、自分の意見と比べながら話し合いをし、キャッチコピーを選ぶことができたか。

### 3. 単元名 「学校図書館に『5年生のおすすめのコーナー』を作ろう」

広がる，つながる，わたしたちの読書（光村 5年）

### 4. 単元の目標

○本や文章を読んで考えたことを発表し合い，自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

◎複数の本や文を読んだ中から，薦めたい本を選び，他者に紹介することができる。

（図書館活用）

### 5. 単元の評価基準

| 国語への関心・意欲・態度                    | C. 読むこと  | 言語についての知識・理解<br>(伝・国)   |
|---------------------------------|--|---|
| ・本を友だちや全校の児童に薦めるといふ活動に興味をもっている。 | ・本を推薦する文章を書いて読み合うことを通して，自分の考えを深めている。 <b>C(2)エ</b><br>・本を推薦するために，複数の本を読んだり，読んだ本の中から選んだりしている。 <b>C(1)カ</b> | ・本を推薦する文章を書くときには，相手に伝わるような構成や推薦するための方法の工夫に気づいている。 <b>伝・国(1)イ(キ)</b> |

### 6. 単元設定の理由

#### (1)指導要領を受けて

高学年のC読むこと(1)の目標は、「目的に応じ，内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさ

せるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる」である。高学年では、読む本や文章が多様になり、作者や筆者の述べたい内容や要旨をとらえるなど、文章全体に対応することが必要になる。読むことについては、楽しむために読む、調べるために読む、知的欲求を満たすために読むなど、いろいろな目的に応じて計画的に読書をするのが大切である。

本単元では、「学校図書館に『5年生のおすすめのコーナー』を作ろう」という学習課題を設定し、本を読んで推薦の文章を書く活動を中心にしている。推薦するためには、自分の目的とともに、相手の目的も考慮し、どのような本を取り上げるのか、また取り上げた本の何を推薦するのかなどを決める必要がある。それぞれの本の特徴をとらえて推薦できるように、本をよく読み込み、相手に伝わるような構成や推薦するための言葉などに注意して叙述を整えることが欠かせない。推薦の方法としては、本の帯や広告カード(ポップ)、ポスターやはがき新聞などが考えられる。他者に本を推薦したり、推薦した本を自分自身が読んだりすることで、自分自身の読書生活がより豊かになることも実感させたい。

本時では、前時までに学習した、共通の文章「千年の釘にいどむ」を題材に、文章全体から内容や要旨を把握し、作成したキャッチコピーを交流し合う。相手をひきつけるように工夫されたキャッチコピーになっているものはどれかを、話し合わせたい。話し合うための手立てとして、前時までの学習で、実際の本の帯に書かれているキャッチコピーなどに触れ、いいキャッチコピーとは何かなどについて実感的に触れさせておく。また、本時で推薦の方法を学級全体で確認し、自分のお薦めの本を推薦する方法を考えていく活動につなげていきたい。学習したことを用い、「千年の釘にいどむ」のように、職人のわざや仕事について書かれた本について、複数の本を比べて読むことで様々な違いを発見し、知識や情報を豊かにしたり、読書の範囲を広げたりすることにつなげたい。多くの本や文章などを読むことの意義や楽しさを実感させるとともに、児童の読書生活を広げていけるようにしたい。

## (2)児童の実態

児童は、読書タイムや給食の待ち時間などには、自分で好きな本を選び、集中して読書に取り組むことができ、読書を楽しむことができている。しかし、中には、読書に対して苦手意識を持っている児童もおり、読む時間や量の個人差も大きい。加えて、読む本の種類も偏っており、文字数の少ない本や漫画などばかりを好んで読む児童も少なくはない。

さらに、子どもたちは、はがき新聞に運動会の目標を書いたり、新聞記者への記事を投稿したりするなど、新聞についての学習を進め、休み時間には廊下にある新聞コーナーの新聞を見るなど、新聞に対する興味も見られるようになってきている。

## (3)研究主題との関連

『主体的・協働的な学びを通して、練り合いが深まる授業指導の実践』という研究主題を受け、国語科においても問題解決的な学習を行っている。課題に対して、一人学びの時間を十分に設定し、ペアでの話し合い・伝え合いの活動、学習リーダーを中心にした全体での話し合いの活動へと進めていく形態を行う。授業の中では教科の専門用語を使うことで、用語の定着を図ると共に、児童間の相互理解を進め、基礎学力に加え活用力の向上を目指していきたい。

また、今年度より「探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業(図書館活用型)」の研究も

始まり、様々な教科の学習の中で図書館資料や新聞の活用をすることで、言語活用の充実を図っていききたい。本単元では、学習したことを基に、本を推薦していく。児童には、学習と並行して読書をするように呼びかけるとともに、だれに何をどのように伝えたいか、表現をどのように工夫するかについて考えさせたい。また、新聞の学習も活用し、はがき新聞を用いた本の紹介をするなどの活動も行い、児童に図書館をより身近に感じてもらうきっかけとしたい。

本時では、前時の復習をするときに、キャッチコピーや引用といった用語や用語の意味を中心に、本を薦める方法などについて振り返るようにする。さらに、用語を使って確認することで、自力解決に見通しを持たせ、本時の目標にせまるようにしたい。その際、自力解決・ペア学習→グループ学習→集団解決と進んでいく。特に今回の授業では、集団解決に授業の中心をおき、価値の共有を図っていききたい。ペアやグループ、全体での活動の際には、自分の考えと理由を言うなど、聞き手を意識した言い方をさせたい。文章を読んで考えたことを発表し合う学習を通して、自分の考えを広げたり、深めたりするよさを味わわせる。

### 7. 指導計画（全8時間 本時 5/8）

関：国語への関心・意欲・態度

読：読む能力

言：言語についての知識・理解・技能（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）

| 時間        | 学習内容   | 評価 |   |   | 図書資料活用   |                       |
|-----------|--|----|---|---|--|-----------------------|
|           |  | 関  | 読 | 言 |  | 評価規準（評価方法）            |
| 1         | <ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題「学校図書館に『5年生のおすすめコーナー』を作ろう」を設定し、学習計画を立てる。</li> <li>学校図書館で本を薦めるための方法を知り、よさを見つける。</li> </ul> | ○  |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分が薦めたい本をよりよく伝えたいという意欲をもち、学習計画を立てている。（行動観察・発表）</li> </ul>             | 並行読書<br>本の帯<br>本のポスター |
| 2<br>3    | <ul style="list-style-type: none"> <li>誰かに薦めるという目的で、教材文「千年の釘にいどむ」を読む。</li> </ul>   |    | ○ |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「千年の釘にいどむ」の何をどのように伝えたいかを考えながら読むことができる。（ノート・発表）</li> </ul>             | 関連図書                  |
| 4         | <ul style="list-style-type: none"> <li>「千年の釘にいどむ」の何をどのように伝えたいかや表現をどう工夫するかについて考え、引用する部分やキャッチコピーを考える。</li> </ul>                       |    |   | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>「千年の釘にいどむ」の伝え方を考えて、引用する部分を決めたり、キャッチコピーを作ったりしている。（ノート・発表）</li> </ul>   | 著作権                   |
| 5<br>(本時) | <ul style="list-style-type: none"> <li>「千年の釘にいどむ」を読んでもらえるように、クラスのおすすめのキャッチコピーを選ぶ。</li> </ul>   |    | ○ |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「千年の釘にいどむ」を推薦するためのキャッチコピーを話し合い、自分の考えを深めたりすることができる。（ノート・発表）</li> </ul> |                       |

|   |  |  |   |  |               |
|---|--|--|---|--|---------------|
| 6 | ・「千年の釘にいどむ」のように、職人や仕事について書かれた本について、どの方法でどのように伝えるか考えて作品を作る。 |  | ○ | ・関連図書を読み、推薦の方法・仕方を考えて、作品を作っている。<br>(行動観察・作品)   | 関連図書          |
| 7 | ・これまでに読んだ本の中から、お薦めの本を1冊選び、はがき新聞で推薦する。                      |  | ○ | ・推薦したい本を選び、推薦の方法・仕方を考えて、作品を作っている。<br>(行動観察・作品) | はがき新聞<br>推薦図書 |
| 8 | ・作品を読み合い、感想を伝え合う・<br>・学校図書館にコーナー、作品を設置し、学習のまとめをする。         |  | ○ | ・作った作品を読み合い、推薦することのよさに気づいている。<br>(ノート・発表)      |               |

## 8. 本時の構想

### (1)目標

- ・「千年の釘にいどむ」の推薦したいキャッチコピーを選び、キャッチコピーを作るときの工夫を見つけることができる。

### (2)本時の評価規準

- ・「千年の釘にいどむ」を推薦するためのキャッチコピーを話し合い、自分の考えを深めたりすることができている。  
(ノート・発表)

### (3)展開

| 学習過程   | 学習活動   | ○教師の働きかけ ◇評価 (方法)  | 学習用語                   |
|--------|--|--|------------------------|
| 振り返り   | 1. 前時の学習を振り返る。<br>*キャッチコピーとは,<br>*引用とは,<br>*「千年の釘にいどむ」で伝えたいこと  | ○用語を使いながら、前時までの学習を振り返る。  | キャッチコピー<br>引用<br>筆者の願い |
| 課題把握   | 2. 課題を知る。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">みんなが作ったキャッチコピーの中から工夫を見つけ、交流をしよう。</div> |  |                        |
| 自力解決   | 3. 作成したキャッチコピー（前時に児童が作成したもの）の仲間わけを考える。<br>・道具について<br>・生き方について<br>・仕事について …など   | ○キャッチコピーを仲間わけしながら提示するようにする。<br>○仲間わけの仕方を考える時には、キャッチコピーの意味、「千年の釘にいどむ」で学習した、筆者の考えなどを振り返るようにする。 | 筆者の考え                  |
| グループ学習 | 4. 同じグループの中で意見を交流する。   | ○自分のキャッチコピーについて、考えた理由などについても詳しく述べるようにする。   |                        |

|                 |  |   |  |
|-----------------|--|---|--|
| 価値の共有<br>(集団解決) | <p>5. グループの中で選んだキャッチコピーを発表し、選んだ理由を発表し合う。</p> <p>6. 出た意見を基にして、選んだキャッチコピーの共通点を話し合う。</p>                    | <p>○学習リーダーを中心に、おすすめの理由などについても話し合わせるようにする。</p> <p>○話し合いの中で、それぞれの立場での意見の相違点や共通点を見つけるようにする。</p> <p>◇「千年の釘にいどむ」を推薦するためのキャッチコピーを話し合い、自分の考えを深めたりすることができている。(ノート・発表)</p> |  |
| まとめ             | <p>7. 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチコピーを作るときには、一番伝えたいことを短い言葉で書く。</li> </ul> | <p>○話し合いや前時のまとめなどを参考に、本時の学習をまとめるようにする。</p>  |  |
| 振り返り            | <p>8. 各自で学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のまとめの感想を書く。</li> </ul>                   | <p>○学習して分かったこと、友達の発表についてなどをノートに書くようにする。</p>   |  |

## 9. 板書計画

例

③ キャッチコピーを作る時には、一番伝えたいことを短い言葉で書く。

共通点

- ・ 短い言葉で書いている。
- ・ 伝えたいことがよく分かる。

生き方

千年先まで残る釘作りを目ざす職人の、意地。

仕事

千年先まで残る釘づくりのわざ

道具

千年たってもびくともしない釘づくり

その他

「学校図書館に『5年生のおすすめコーナー』を作ろう」

「千年の釘にいどむ」

④ みんなが作ったキャッチコピーの中から工夫を見つけ、交流をしよう。

## 10. 授業後の研究協議より

### 《協議の柱》

本時のねらい  
達成に向けて

○本時の課題解決に向けて、自分の意見と比べながら話し合いをし、キャッチコピーを選ぶ  
ことができたか。

○本時のねらいが達成できたか。

### 《ワークショップの意見から》 ●課題 →改善策

- グループ分け以外の意見の交流があるとよい。  
→時間配分の工夫（導入部分の短縮：最初の自分の作品紹介をカットして時間をつくる）
- 意見の比較ができていなかった。  
→比較するときに使う言葉を教える。
- 価値の共有（集団解決）が全体のものになる工夫が欲しい。  
→各班の発表をせず、気づき・練り上げの時間を長くする。
- いいと思った理由が言えたらよい。  
→理由づけをするよう具体的に指導する。  
→キャッチコピーを作りために、本文からキーワードを見つける。
- 評価規準を明確にする。  
→本時の明確な（具体的な）評価規準を示す。

### 《授業者の授業改善プラン》

- ・時間配分を考慮し・練り上げの時間を確保する。
- ・教師が切り返すことで、考え深めさせる。
- ・話し合いの言葉や話し合いの仕方の指導をする。

### 《講師の助言》

- 中部教育事務所 瀬戸指導主事
  - ・児童同士で考えを交流し深め、広げるためには、まず、一人ひとりが自分の考えをしっかりと持つことが必要であり、伝えたいことがあることが必要である。人のキャッチコピーを聞く際に自分だったらどんなキャッチコピーにするか自分の考えと比較できるように聞くことが大切である。
  - ・これからの時代を生きる子ども達に求められる資質・能力を考えると、自分の考えを根拠を明らかにしながら伝え、他の児童との解釈の違いを認め合えることが大切である。
  - ・論理的に説明する力をつけること、教材文と比べて読む並行読書の位置づけなどについても実践を積んでいって欲しい。
- 越知町学力向上スーパーバイザー 西留先生
  - ・気づいたことを交流することに時間をかけたい。ホワイトボードの扱いは、同じ・違う・似ている所を考えさせるなど考察の視点を示して、まとめていくのがよい。

《授業者の授業から参観者が学んだこと》

- 子どもの言葉を使ってまとめをする。
- これまでの学習が本時に活かされる授業にする。

《今後の指導に活かしていく内容についての全体確認》 研究主任より

◎授業における教師の役割の確認

- ・ 繰り返し、ゆさぶり、ねらいから外れていったときの修正する視点の提示等を行う。
- ・ 児童に任すべきところは任せ、子どもが学習を進めていく。
- ・ 導入時には、児童が意欲的に取り組めるようにする。

◎集団解決における意見交流の仕方・練り上げる視点を与える。